

神協連ニュース

No.478 2022年1月27日

横浜市港北区新横浜2丁目6番地13
新横浜ステーションビル9階 〒222-0033
TEL 045-473-1031 (代表)
FAX 045-473-9272
http://www.coopkana.jp



すべての国に核兵器禁止条約の批准を求める連絡会

2021年の
まとめと交流会

神奈川県の生協でつくる「すべての国に核兵器禁止条約の批准を求める連絡会」(座長: 當具伸一・神奈川県生協連代表理事会長)は、核兵器禁止条約発効1周年を1週間前に控えた2022年1月14日、2021年の活動のまとめと交流会をオンラインで開催しました。

神奈川県原爆被災者の会扱いとして取り組んだ連絡会参加生協による署名(日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名)は184,293筆となり、会を代表して當具伸一座長から神奈川県原爆被災者の会丸山進会長へ、署名目録として手渡されました。

また、「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」は2022年も引き続き取り組むことを確認しました。



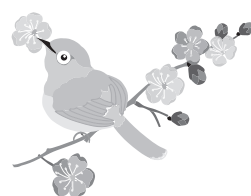
- 日 時／2022年1月14日(金) 14:00～15:30
- 会 場／新横浜 オルタナティブ生活館 スペースオルタよりオンライン開催
- 内 容／
 - *開会挨拶 當具 伸一
すべての国に核兵器禁止条約の批准を求める連絡会座長
神奈川県生活協同組合連合会代表理事会長
 - *署名目録お渡し式 184,293筆
 - *神奈川県原爆被災者の会 丸山 進会長よりごあいさつ
 - *これまでの活動のふりかえりと、連絡会参加生協の2021年の取り組み紹介
 - *若者の活動から学ぶ
慶応義塾大学3年
高橋 悠太さん(KNOW NUKES TOKYO共同代表)
「出会いに生かされて」～核兵器廃絶と“Z世代”の社会運動～
 - *神奈川県原爆被災者の会 木本 征男副会長よりメッセージ
司会進行: 加藤 慎吾さん(やまゆり生協)
質問受付: 小川 清香さん(パルスシステム神奈川)

神奈川創価学会と平和に関する懇談

神奈川県原爆被災者の会と神奈川県生協連は神奈川創価学会を訪問し、平和の取り組みに関する懇談をしました。創価学会は、1957年の原水爆禁止宣言を平和運動の原点とし、核兵器禁止条約の採択と発効に向けた取り組みをはじめ、平和文化講演会や戦争体験聞き取り調査、平和意識調査など平和活動を積極的に行っています。被爆者の高齢化が進み、戦争体験の風化が叫ばれる今だからこそ、核兵器の悲劇と悲惨な戦争を繰り返さないために、ともに核兵器廃絶に向けた取り組みを行っていくことを確認しました。



- 日 時／2022年1月7日(金) 15:00～15:45
- 場 所／創価学会神奈川文化会館(横浜市中区山下町7-1)
- 参 加／神奈川創価学会 河原 徹夫 広報部長
神奈川県原爆被災者の会 丸山 進会長、木本 征男副会長、東 勝廣事務局長
神奈川県生協連 當具 伸一会長、庭野 文雄専務理事、相田 祐二事務局長



大規模災害について横浜市との懇談会

大規模な災害が発生した際には、市民生活の一日も早い生活の安定のために、官民の連携した取り組みが必要です。神奈川県と神奈川県生協連では「災害時における県民生活の安定に関する基本協定書」を阪神淡路大震災直後に締結、ユーコープでは横浜市と「災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定書」を締結しています。

災害時に協定が機能するためには平時から情報の共有や認識の一致をはかっておくことが大切であることから横浜市の担当部局と神奈川県生協連大規模災害対策委員会は大規模災害について懇談を行いました。また、今回は横浜市生協運営協議会も一緒に参加をして意見交換がされました。

■ 日 時／2021年12月21日(火) 9:00～10:30

■ 会 場／横浜市役所 17階会議室

■ 出席者／

横浜市（総務局危機管理室）：長澤勘平危機管理課担当係長、園田大輔防災企画課担当係長、吉田哲郎防災企画課担当係長、瀬戸洋美地域防災課担当係長、飯塚信太郎地域防災課担当係長、木村正夫緊急対策課長、飯野正夫緊急対策課担当係長

横浜市（経済局市民経済労働部）：永峯浩子消費経済課長、本田智誠消費経済課消費生活係長、松崎正尚消費経済課計量検査所長

生協（大規模災害対策委員会）：五月女博之（ユーコープ・総務課長）、目黒勇人（生活クラブ生協・総務部管理課リーダー）、内藤努（パルシステム神奈川・総務課長）、庭野文雄（神奈川県生協連専務理事）、相田祐二（神奈川県生協連事務局長）

生協（横浜市生協運営協議会）：三浦紀子（横浜生活クラブ生協・理事長）、藤原典子（医療生協かながわ・常務理事）、平田奈津美（生活クラブ生協・政策調整部長）



■ 懇談の内容／

- ・ 神奈川県生協連より開催の主旨について説明
- ・ 自己紹介
- ・ 主な懇談のテーマ

- (1) 今年発生した横浜市内の大規模災害について（内容と対応）
- (2) 横浜市の防災計画の変更・強化した点について
- (3) 水害対策に関する市民への避難誘導方法について
- (4) その他

項目ごとの説明のあと、質疑応答と意見交換の場を設けていただき、短い時間ではありましたが横浜市の災害に関する取り組みについて理解を深めることができました。最後に、最低でも年に1回は懇談することが大切であることを確認し合い、閉会しました。

神奈川県と大規模災害対策委員会の定期懇談開催

神奈川県と神奈川県生協連は阪神・淡路大震災（1995年1月17日）の発生した年の4月に「災害時における県民生活の安定に関する基本協定書」を締結しています。この協定書では、「災害時においても被災者に対する救援活動等を支援するため、応急生活物資の調達および安定供給、医療、保健活動、ボランティア活動への支援、物価等の生活情報の収集・提供活動を円滑に行い、もっと県民生活のために寄与すること」を謳っています。

いざという時、協定が機能するためには平時からの情報共有と認識を一致させ、何よりも顔の見える関係を積み重ねることが大切であることから、今年は感染対策の整った会場を用意いただき、実参加での懇談を行いました。

■ 日 時／2022年1月12日(水) 15:00～16:30

■ 会 場／神奈川県庁 本庁舎3階 第3応接室

■ 参加者／13名（神奈川県5名・生協8名）

〔神奈川県くらし安全防災局 防災部危機管理防災課〕

課長 能戸 一憲さん、副課長 島村 豊さん、応急対策グループグループリーダー 上平 義樹さん、計画グループ 副主幹 中村 有策さん、応急対策グループ 主任主事 内田 慎太郎さん

〔生協〕

神奈川県生協連 代表理事専務 庭野 文雄、ユーコープ 総務課長 五月女 博之、生活クラブ生協 総務部管理課リーダー 目黒 勇人、パルシステム神奈川 総務課課長 内藤 努、うらがCO-OP 総務課課長 角田 真宏、うらがCO-OP 組織部課長 渡辺 武、医療生協かながわ 総務部長 菅原 俊則、神奈川県生協連 事務局長 相田 祐二



第11回 九都県市合同防災訓練・図上訓練に参加

九都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)では、「九都県市災害相互応援等に関する協定」に基づき、九都県市相互の連携及び九都県市域外の組織との連携等を目的に図上訓練を実施しています。この訓練は各都県市が共通想定のもと、それぞれの災害対応を行うとともに、九都県市及び域外の組織と連携を図るものです。

今年も予定通りに訓練が開催されましたが、新型コロナウイルス感染拡大対策のため、政令市と民間業者は、オンラインで「資源配分調整会議」に参加しました。

■ 訓練実施日／2022年1月19日(水) 10:00～15:00

■ 想定地震／発生日時……2022年1月18日(火) 16時00分
地震のタイプ…都心南部直下地震
震源の深さ……27km
規模……………マグニチュード7.3

■ 参加訓練内容／資源配分調整会議(11時～12時)に参加

■ 協議事項／

- (1) プッシュ型支援物資における救助実施市及び県所管域の配分割合
- (2) 広域物資輸送拠点の選定
- (3) 輸送可能車両の配分方法
- (4) 物資供給事業者の配分方法



■ 資源配分調整会議参加機関／

神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、関東運輸局、神奈川倉庫協会、日本通運(株)、佐川急便(株)、ヤマト運輸(株)、西濃運輸(株)、(株)イトーヨーカ堂、イオンリテール(株)、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)ローソン、(株)ファミリーマート、神奈川県生活協同組合連合会

3月3日(木)

2022年 神奈川県消費者のつどい 医療崩壊はなぜ起こったのか

～コロナ禍で明らかになった医療・保健体制の問題点と今後の課題～

2020年以降の新型コロナウイルス感染症の拡大は、国民生活に大きな影響を及ぼし、医療・保健体制など日本の社会保障に弱さがあることが浮き彫りになりました。新型コロナの感染拡大地域では、医療体制がひっ迫し、医療が機能不全に陥る「医療崩壊」が現実のものとなりました。

今後も新しい感染症が発生することが確実だと言われている中、「医療崩壊」がなぜ起こったのか、どう備えたらいいのかを一緒に考え、安心してらせる地域社会をつくっていきましょう。

《講演》「医療崩壊はなぜ起こったのか」

講師：伊藤 周平さん(鹿児島大学教授)

★ 日 時／2022年3月3日(木) 10:00～15:15

★ 開催方法／オンライン(zoom)による開催

※実参加の方：新横浜オルタナティブ生活館 (少人数の会場のため、事前申込が必要です。)

※全体会のみ、後日見逃し配信あり(事前申込必要)

●全体会：10:00～12:00 (地下1階)

●分科会：13:15～15:15

第1：「コロナ禍における保健所の状況と課題」(地下1階)

第2：「知って安心!広告を見る目を養おう」(2階)

★ 主 催／2022年神奈川県消費者のつどい実行委員会

★ 後 援／神奈川県・横浜市経済局・川崎市・相模原

参加お申し込み <https://00m.in/EWZAM>



横浜市生協運営協議会 環境おはなし会を開催 ～みんなで考えるプラスチックごみ対策

横浜市生協運営協議会（代表：三浦紀子・横浜北生活クラブ生協）は、みんなで考えるプラスチックごみ対策として、講師に横浜市の職員を招き、環境おはなし会を開催しました。地球を救う最後の世代である、今を生きる市民として、アクションを起こすときが来ています。

まず自治体でのプラスチック処理について現状把握が必要と考えました。学習会では横浜市が企業との連携による対策や動画作成や、市民啓発のイベントに取り組んでいることがわかりました。さらにプラスチックごみ対策の取り組みをすすめる必要性も感じました。個人レベルの努力にとどまらず、社会システムの変革につなげるために、自治体行政と市民の協働が鍵となることも確認できた有意義な学習会でした。参加者一人ひとりがアクションの当事者になることを期待しています。（三浦代表談）



■ 日 時／2021年12月9日（木）10:00～11:30

■ 参加者／31名（会場参加とオンライン）

■ 内 容／主催者あいさつ：三浦紀子代表（横浜生活クラブ生協）

テーマ 横浜市のプラスチック対策について

横浜市資源循環局政策調整部 政策調整課 畑裕 己係長、大瀬木 恵太氏
3R推進課 石川 洋子係長、大村 直輝氏



おしらせ 2021年度福祉セミナー

★ 神奈川県労福協 神奈川県生協連共催

★ 開催日／2月19日（土）13:30～16:00（オンライン開催）

★ 学習タイトル／次期介護保険制度改正、報酬改定の方針について
～2021年度介護報酬改定項目の流れ、政策動向など～

★ 講 師／株式会社グッド・シェパード代表取締役 馬袋 秀男さん

★ 申 込／下記URLよりお申込みください（2月10日締め切り）

<https://forms.office.com/r/dcPjy3em1C>



2021年度 第4回 理事会報告

■ 日時／2021年11月16日（火）14:00～15:50

■ 会場／こくみん共済coop神奈川推進本部 5階会議室

〔議決事項〕 神奈川県生協連2022年度事業活動方針策定の進め方について
役員報酬委員会の構成とすすめ方について
役員推薦委員会の構成とすすめ方について
2021年度決算監査に向けた準備と日程について

〔協議事項〕 神奈川県生協連2021年度上期活動報告と下期の主な課題について

〔報告事項〕 神奈川県生協連報告
神奈川県生協連の委員会・専門部会報告
生協運営協議会、ネットワーク関連報告

